

平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月28日

上場会社名 菊池プレス工業株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 5970 URL <http://www.kikuchi-press.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長兼CEO (氏名)菊池 俊嗣
 問合せ先責任者 (役職名)取締役兼常務執行役員兼CFO (氏名)中島 達昭 TEL 042-552-1610
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	14,267	21.4	1,527	166.5	1,568	132.6	996	153.3
22年3月期第1四半期	11,749	△26.7	573	△61.0	674	△50.7	393	△53.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	124.36	—
22年3月期第1四半期	49.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	62,949	26,579	33.2	2,605.30
22年3月期	62,001	25,715	32.8	2,539.86

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 20,876百万円 22年3月期 20,352百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,000	12.8	1,800	94.0	1,900	129.6	1,000	150.8	124.79
通期	56,700	5.4	4,100	33.8	4,000	24.2	2,000	△6.3	249.58

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 — 社 ()、除外 — 社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	8,737,200株	22年3月期	8,737,200株
23年3月期1Q	723,982株	22年3月期	723,942株
23年3月期1Q	8,013,229株	22年3月期1Q	8,013,453株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

目次

	頁
1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における国内外の経済情勢は、国内では海外経済の回復等により景気に持ち直しの動きが見られたものの、円高の進行やデフレの継続、厳しい雇用情勢や設備投資の低迷が続くなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。海外におきましては、欧州を中心に財政危機による金融不安が見られたものの、米国では政策効果等により緩やかな景気回復が続き、中国やインドでの内需拡大を背景にアジアを中心として景気は回復傾向で推移しました。

自動車業界におきましては、国内ではエコカー減税や補助金効果等によりハイブリッド車など低燃費車を中心に販売は持ち直し、輸出も緩やかな回復基調に転じたことから国内生産に持ち直しの動きが見られました。海外におきましては、中国やインドなどアジアの新興国の内需拡大に加えて、米国において販売に回復の動きが見られたことから、生産、販売は増加傾向で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループは、政策効果等に下支えされた不透明な自動車市場に対応するべく、引き続き収益体質の強化を図るとともに、埼玉工場の本格稼働を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、北米及び中国を中心に車体部品の売上が増加したことなどにより、売上高は14,267百万円(前年同四半期比21.4%増)、営業利益は1,527百万円(前年同四半期比166.5%増)、経常利益は1,568百万円(前年同四半期比132.6%増)、四半期純利益は996百万円(前年同四半期比153.3%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

国内につきましては、主要得意先の生産持ち直し等により車体部品の売上が回復基調で推移いたしましたほか、固定費削減等による改善効果から、売上高は6,506百万円(前年同四半期比11.0%増)、営業利益は420百万円(前年同四半期比692.0%増)となりました。

②北米

北米につきましては、車体部品の生産が持ち直したことなどにより、売上高は1,499百万円(前年同四半期比67.1%増)、営業利益は164百万円(前年同四半期比481.5%増)となりました。

③アジア

アジアにつきましては、中国における車体部品の生産が増産傾向で推移したことなどにより、売上高は4,668百万円(前年同四半期比34.9%増)、営業利益は664百万円(前年同四半期比269.0%増)となりました。

④中南米

中南米につきましては、ブラジルにおける車体部品の売上が概ね横ばいで推移したことに加え、為替換算の影響等により売上高は1,746百万円(前年同四半期比8.8%増)、営業利益は242百万円(前年同四半期比12.5%増)となりました。

(注) セグメントの前年同四半期比は、参考として記載しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より948百万円増加し、62,949百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加、売掛金の減少等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より85百万円増加し、36,370百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加及び長期借入金の減少等によるものであります。

純資産合計は、利益剰余金の増加及び為替換算調整勘定等により前連結会計年度末より863百万円増加し、26,579百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より1,615百万円増加し、3,422百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、3,694百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が1,675百万円、有形固定資産等の減価償却費1,727百万円、売上債権の減少額710百万円、たな卸資産の増加額△300百万円、賞与引当金の減少額△202百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1,938百万円となりました。これは主に、国内外の新規車種生産用設備の取得、国内の生産体質改革を目的とした埼玉工場の生産設備への投資、中国における新型車受注部品生産用設備及び生産能力増強のための機械設備の取得等、有形固定資産の取得による支出△2,023百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、165百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増額809百万円、長期借入金の返済による支出△1,059百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、国内では依然として厳しい雇用環境が続き、内需主導による自律的な景気回復の動きは弱く、先行き不透明な状況が続くものと考えられます。一方、海外におきましては、欧州の金融不安による景気下振れリスクはありますものの、米国における景気の持ち直し、中国及びインド等の新興国市場の成長等、総じて世界経済は緩やかな回復基調で推移するものと思われま

す。当社グループは、競争力の強化に向けたコスト削減、合理化等を引き続き推進し、国内外で収益体質の強化を図ってまいります。

平成23年3月期の業績予想につきましては、現段階では平成22年4月26日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. その他の情報**(1) 重要な子会社の異動の概要**

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

（たな卸資産の評価方法）

当四半期会計期間末におけるたな卸高の算出に関して、実地たな卸を省略し前連結会計年度末に係る実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（「資産除去債務に関する会計基準」等の適用）

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ551千円減少し、税金等調整前四半期純利益は40,427千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,441,178	2,727,432
受取手形及び売掛金	8,074,180	8,514,831
製品	279,880	250,926
仕掛品	1,667,950	1,192,606
原材料	560,428	764,849
貯蔵品	246,439	243,954
その他	1,439,461	1,657,602
流動資産合計	16,709,520	15,352,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,833,409	13,848,853
機械装置及び運搬具（純額）	10,587,044	11,009,208
工具器具及び備品（純額）	4,756,700	5,302,073
土地	7,191,330	7,273,623
建設仮勘定	2,217,120	1,187,323
有形固定資産合計	38,585,604	38,621,083
無形固定資産		
投資その他の資産	532,108	499,774
投資有価証券	6,269,908	6,738,717
その他	852,857	789,678
投資その他の資産合計	7,122,766	7,528,396
固定資産合計	46,240,479	46,649,253
資産合計	62,949,999	62,001,458
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,867,208	5,028,556
短期借入金	12,253,200	11,393,240
1年内返済予定の長期借入金	4,767,547	4,864,960
未払法人税等	241,385	48,939
賞与引当金	311,533	513,201
役員賞与引当金	7,125	29,500
その他	3,209,007	3,149,926
流動負債合計	25,657,007	25,028,324

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
固定負債		
長期借入金	8,869,427	9,457,702
退職給付引当金	497,599	484,886
役員退職慰労引当金	392,211	397,186
資産除去債務	71,095	—
その他	883,401	917,464
固定負債合計	10,713,735	11,257,239
負債合計	36,370,742	36,285,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,531,708	1,531,708
資本剰余金	1,620,525	1,620,525
利益剰余金	20,494,009	19,593,638
自己株式	△1,060,066	△1,059,992
株主資本合計	22,586,176	21,685,878
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	633,882	841,617
為替換算調整勘定	△2,343,245	△2,174,958
評価・換算差額等合計	△1,709,362	△1,333,341
少数株主持分	5,702,442	5,363,356
純資産合計	26,579,256	25,715,894
負債純資産合計	62,949,999	62,001,458

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	11,749,708	14,267,277
売上原価	10,279,482	11,794,133
売上総利益	1,470,225	2,473,143
販売費及び一般管理費	897,074	945,555
営業利益	573,151	1,527,588
営業外収益		
受取利息	8,654	17,883
受取配当金	9,037	10,185
持分法による投資利益	44,789	93,696
為替差益	96,229	—
その他	83,162	55,059
営業外収益合計	241,874	176,825
営業外費用		
支払利息	140,062	119,328
為替差損	—	2,578
その他	556	13,875
営業外費用合計	140,619	135,781
経常利益	674,406	1,568,632
特別利益		
固定資産売却益	1,483	3,032
子会社清算益	—	19,801
持分変動利益	—	175,275
特別利益合計	1,483	198,108
特別損失		
固定資産除却損	—	2,070
投資有価証券評価損	—	49,132
早期割増退職金	5,271	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	39,875
特別損失合計	5,271	91,078
税金等調整前四半期純利益	670,618	1,675,662
法人税、住民税及び事業税	115,407	287,867
法人税等調整額	42,599	85,226
法人税等合計	158,007	373,094
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,302,568
少数株主利益	119,135	306,038
四半期純利益	393,476	996,530

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	670,618	1,675,662
減価償却費	1,882,315	1,727,071
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,262	12,713
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,656	△4,975
賞与引当金の増減額(△は減少)	△216,355	△202,779
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,750	△22,375
受取利息及び受取配当金	△17,691	△28,069
支払利息	140,062	119,328
持分法による投資損益(△は益)	△44,789	△93,696
持分法適用会社への未実現利益調整額	△97,537	△3,052
投資有価証券評価損益(△は益)	—	49,132
子会社清算損益(△は益)	—	△19,801
固定資産除売却損益(△は益)	△1,483	△961
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	39,875
持分変動損益(△は益)	—	△175,275
売上債権の増減額(△は増加)	△589,392	710,999
たな卸資産の増減額(△は増加)	517,009	△300,216
仕入債務の増減額(△は減少)	288,776	△185,461
未収又は未払消費税等の増減額(△は減少)	△247,642	239,718
前受金の増減額(△は減少)	△452,454	△167,559
未払金の増減額(△は減少)	848,960	495,841
その他	33,879	△72,489
小計	2,718,444	3,793,631
利息及び配当金の受取額	33,446	61,257
利息の支払額	△142,772	△111,487
法人税等の還付額	—	36,144
法人税等の支払額	△52,034	△85,503
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,557,083	3,694,041
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,572,493	△2,023,759
有形固定資産の売却による収入	1,548	88,623
無形固定資産の取得による支出	△134	△41,138
非連結子会社の清算による収入	—	129,420
投資有価証券の取得による支出	△4,200	△4,200
その他	△28,242	△87,078
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,603,521	△1,938,131

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	57,723	809,980
長期借入れによる収入	2,500,000	360,180
長期借入金の返済による支出	△1,229,886	△1,059,483
割賦債務及びファイナンス・リース債務の返済による支出	△221,657	△182,441
自己株式の取得による支出	△93	△73
配当金の支払額	△112,294	△91,710
少数株主への配当金の支払額	△8,164	△1,958
財務活動によるキャッシュ・フロー	985,626	△165,507
現金及び現金同等物に係る換算差額	111,770	24,783
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△949,040	1,615,186
現金及び現金同等物の期首残高	2,905,080	1,807,392
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,956,039	3,422,578

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)において、当連結グループは、車体プレス部品、厚肉精密プレス部品等の輸送用機器部品の製造・販売を主な事業としている専門メーカーでありますので、当該セグメント以外に開示基準に該当するセグメントがありません。このため事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (千円)	北米地域 (千円)	アジア地域 (千円)	中南米地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	5,786,646	897,498	3,460,098	1,605,465	11,749,708	—	11,749,708
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	77,512	—	—	—	77,512	(77,512)	—
計	5,864,158	897,498	3,460,098	1,605,465	11,827,221	(77,512)	11,749,708
営業利益	53,123	28,271	179,943	215,623	476,961	(△96,189)	573,151

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。
(1) 北米地域 …… 米国
(2) アジア地域 …… 中国
(3) 中南米地域 …… ブラジル

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	北米地域	アジア地域	中南米地域	計
I. 海外売上高(千円)	2,030,452	3,490,516	1,925,753	7,446,722
II. 連結売上高(千円)	—	—	—	11,749,708
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	17.3	29.7	16.4	63.4

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 各区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。
(1) 北米地域 …… 米国、カナダ
(2) アジア地域 …… 中国、マレーシア、インド
(3) 中南米地域 …… ブラジル
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

a. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、車体プレス部品、厚物精密プレス部品等の輸送用機器部品の製造・販売を主な事業としている専門メーカーであり、国内においては当社が、海外においては北米、アジア、中南米の各現地法人がそれぞれ製造・販売しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域毎に、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「北米地域」、「アジア地域」及び「中南米地域」の4つを報告セグメントとしております。

b. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	日本	北米地域	アジア地域	中南米地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,351,804	1,499,831	4,668,825	1,746,816	14,267,277	—	14,267,277
セグメント間の内部売上高又は振替高	155,059	—	—	—	155,059	—	155,059
計	6,506,863	1,499,831	4,668,825	1,746,816	14,422,336	—	14,422,336
セグメント利益	420,756	164,388	664,021	242,665	1,491,831	—	1,491,831

c. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,491,831
セグメント間取引消去	35,756
四半期連結損益計算書の営業利益	1,527,588

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

該当事項はありません。